

業務運営進行表

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

所属	局名	部名	室・課(出先は所属)名	所属のホームページ
	教育局		足柄高等学校	<a href="http://www.ashigara-h.pen-kanagawa.ed.jp/">http://www.ashigara-h.pen-kanagawa.ed.jp/</a>

I 業務概要

足柄高等学校は、県西部の南足柄市に位置する全日制の普通科高校です。昭和55年に第1回卒業式を挙行し、昨年度36期生が卒業しました。本校は南足柄市の唯一の県立高校として、地域の皆様方から期待され親しまれてきました。「地域に学び、未来に羽ばたけ」を教育目標として、高い知性と教養を身につけた、郷土の文化と伝統を担う、社会に貢献する人材の育成を目指しています。



II 収支の状況

(単位：千円)

		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	出納整理期間	累計	
収入	収入科目	年間計画額	収入済額					
	使用料及び手数料	33,022	17	5,748	32,652	27,331	65,747	
	財産収入	3,108	3,108	11		7	3,126	
	その他	225	56	61	56	37	210	
	収入計(A)	36,354	3,180	5,820	32,707	27,375	0	69,083
支出	項目	(再)配当額	支出済額					
	事業費	73,093	1,913	7,950	31,187	30,615	1,428	73,093
	維持管理費	21,218	2,549	3,939	3,161	8,712	2,857	21,218
	計	94,311	4,462	11,889	34,348	39,327	4,285	94,311
	人件費(注1)		152,799	103,612	156,708	108,970		522,089
	支出計(B)		157,261	115,501	191,055	148,297	4,285	616,401
	差額(A)-(B)(注2)		△154,081	△109,681	△158,348	△120,923	△4,285	△547,318

(注1) 人件費には職員数に共済費及び退職手当の平均単価を乗じて算出した共済費相当額(事業主負担分)及び退職手当相当額が含まれています。

(注2) 差額の△(マイナス)には、県税や県債、国庫支出金等を充当しています。

(注3) 各項目毎に千円未満四捨五入を行っているため、各計欄は各項目を合計したものと一致しない場合があります。

III 職員配置状況

配置職員数	区分	4月1日	7月1日	10月1日	1月1日
	常勤職員	54	54	54	54
	上記以外の職員	31	31	31	31
	計(人)	85	85	85	85

IV 業務実施状況

1 生徒数の状況(平成27年4月1日現在)

		1年	2年	3年	合計
学級数		7	7	8	22
生徒数	男	144	131	165	440
	女	135	144	144	423

2 年間行事予定

4月：入学式 実力テスト 遠足 5月：生徒総会 中間テスト 6月：文化祭 三者面談  
7月：期末テスト 相模人形芝居 インターンシップ 夏期講習 8月：夏期講習  
9月：地震避難訓練 修学旅行 10月：陸上競技大会 中間テスト 11月：火災避難訓練  
12月：期末テスト 1月：卒業テスト 2月：入学者選抜 3月：卒業式 生徒総会

### 3 進路の状況

		26年度	25年度	24年度	23年度
卒業生数		272	273	280	238
進学	4年制大学	142	129	136	135
	短期大学	34	31	36	23
	専門学校・各種学校	74	80	89	56
就職		12	17	3	8
その他・進学準備等		10	16	16	16

## V 業務運営に関する評価

### 1 平成27年度の学校目標

- ①生徒の潜在的な力を最大限伸ばすために、新教育課程の円滑な推進を図り、生徒一人ひとりの個性・適性・能力・環境に対応した教育活動を展開する。
- ②生徒の諸活動を適切に支援しながら、自他ともに認め合う心を育成し、豊かな人間性の形成を目指す。
- ③生徒一人ひとりの興味・関心・意欲を大切にし、より高い目標に向け努力する姿勢を育み、確かな学力向上の推進を図る。
- ④勤労観・職業観を育成し、規範意識の涵養を推進するとともに、自らの進路を選択し、社会の一員として自立するための実践的な能力を支援する。
- ⑤家庭・地域・関係機関との連携を一層深め、地域の持つ伝統と文化を理解しつつ、地域へ貢献する「地域とともに歩む」学校づくりを推進する。
- ⑥全職員が安全に配慮した学校運営・学校管理の改善に向けた具体的課題を共有し、各々がその解決に積極的に取り組む。

### 2 平成27年度の学校目標の評価

- ①小集団・習熟度学習により、生徒一人ひとりの学習への取組状況の把握や個に応じた指導はできたと考える。生徒に達成感を実感させ、主体的な学習態度を習慣化させるためには、今年度の取組を検証し、組織的な授業改善を推進する。
  - ・朝読書は定着し、授業への移行が円滑に行われた。
- ②長期休業中の補習、講習については、生徒の学習到達度や進路希望に応じた講座を開講し、十分な対応ができた。
  - ・進路相談日が設定されていることで、個別相談が行えた。
  - ・生徒、保護者の相談に応じる体制づくりはできたと考える。
- ③生徒による授業評価をもとに各教科で検討し、研究授業では他教科や外部からの参観者を交えての協議を行うことにより、授業改善に向けた方向性は探求できたと考える。
  - ・観点別評価を5段階にすることにより、生徒の取組状況や到達度をより細かく評価でき、学習指導に結びつけられた。
- ④学年に応じて、生徒・保護者に進路情報を提供したり、進路講演会や説明会、体験授業などを経験させたりすることにより、キャリア教育実践プログラムに則った指導ができ、一応の成果が得られたと考える。
  - ・学校行事を実施する過程で、時間や会場等の制約はあったが、関係職員が臨機応変に対応することにより、生徒同士が協力して円滑に進めることができた。
  - ・登校時の交通マナーでは、保護者・地域の支援や協力もあり、一部に改善の余地はあるが、一定の効果が得られた。
- ⑤PTAと連携してスクエアストレイト等の交通安全指導の新規事業が導入できたことにより、生徒の交通安全に対する意識を大いに高める効果があった。
  - ・地域清掃や環境整備等の活動、及び部活動を通して地域のイベント等に参加することにより、地域に支えられ地域とともに歩む学校であることを多くの生徒が実感したと考える。
  - ・本校の取組や生徒の活動状況について、常に最新の情報を提供しよう心がけ、中学校や中学生、保護者に向けて説明会等の資料についても、わかりやすく興味をもってもらう工夫をしたことにより、志願者の理解が得られたと思われる。
- ⑥企画会議にグループでの取組を提示することにより、情報の共有化を図り、学校運営の円滑化を図ることができた。
  - ・南足柄市の「避難所運営マニュアル」に基づき、災害時における避難所としての役割の確認ができた。

連絡先（電話番号）

0465-73-0010